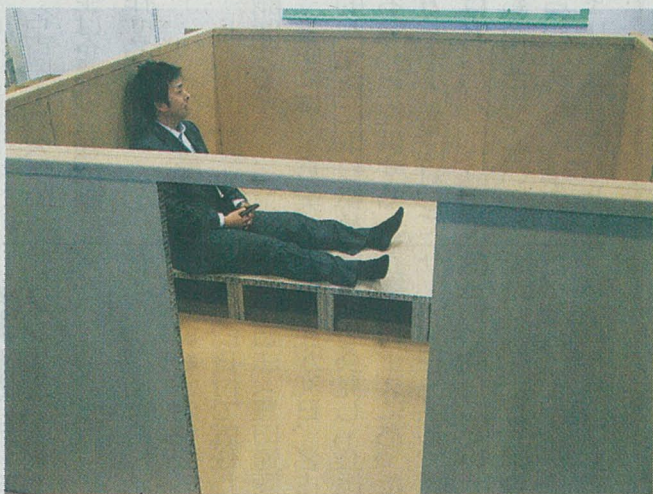


紙製の個室避難所

トーカーエコボードが開発

組み立て簡単 プライバシー万全



紙製パレットなどを生産する、トーカーエコボード（本社名古屋守山区、吉井久史社長）は、女性でも簡単に組み立てることができる紙製の「個室避難所」を開発した。災害時に体育館などの避難所に設置する。団体生活を強いられる避難所生活で、プライバシーの保護を図ることがねらい。今後、自治体を中心に提案していく。

（山田悠）

個室内は、段差付きの床板を設置。壁は男性がもたれかかっても大丈夫な強度を持つ

個室避難所全体の広さは、22・5畳分。縦約5・9畳、横約7畳、高さ約1・2畳。この

空間を、自社開発の紙製間仕切り「エコボード」を使って、六つの部屋に区切る。個室内は、段差付きの床板を設けることもできる。ベッドやテーブルの代わりになる。個室避難所（6部屋分）の価格は10万円。

紙製で金具も不要。壁の厚さは4センチ。大人の男性がもたれかかっても大丈夫な強度を持つ。

東日本震災の後、高齢者、女性なども体育館などで長い避難生活を強いられた。特に女性の着替えや授乳な

の際、プライバシーをどう保護するかなどの課題が浮かび上がった。同社は「災害時に役に立てるものがないかと開発を進めてきた。今回の製品を通じて、社会に貢献したい」としている。